

小野路宿通り景観形成誘導地区のチェックリスト(適合状況説明書)

建築物の建築等

景観形成基準に対する適合状況を適合状況記載欄に**具体的**に記入してください。
該当しない基準については、適合状況記載欄に該当なしとご記入ください。

指摘事項が出た場合、指摘事項に対する措置状況を措置状況記載欄に追記し、図面に変更がある場合は変更後の図面を添付すること。

		景観形成基準	景観形成基準に対する 適合状況記載欄	町田市指摘事項① 町田市指摘事項②		措置状況記載欄① 措置状況記載欄②	確認
配置	1	ゆとりあるまち並みを保全するため、道路境界線や隣地境界線からの距離をできるだけ離す。		①			☐
高さ・規模	2	まち並みの連続性に配慮し、統一感ある屋根の高さや、軒の高さとなるよう努める。		①			☐
	3	隣接する建築物より高い建築物を計画する場合は、通り側の高さを揃えるなど、まち並みの調和や通りからの見え方に配慮する。		①			☐
匠形・態色・彩意	4	屋根は傾斜屋根とし、伝統的な建築物や周辺環境に配慮し、素材や形態を工夫する。		①			☐
外構・緑化	5	既存のみどりを活かしつつ、敷地内は積極的に緑化を図り、周辺や丘陵地のみどりとの連続性に配慮する。		①			☐
				②			
	6	敷地の境界は積極的に緑化を図ることとし、宿通り沿いでは、板塀や生垣などと一体となるような庭木などの植栽を行うよう努める。		①			☐
				②			
	7	樹種や花種などの選定にあたっては、丘陵地の植生に配慮し、周辺との調和や季節感の創出に努める。 紅葉や花実を付けるなど、四季の変化を感じることができる樹種を選定する。		①			☐
				②			
	8	既存の生垣、板塀、玉石積み擁壁はできる限り再現する。		①			☐
				②			
	9	垣柵はブロック塀を避け、生垣や板塀などとする。		①			☐
				②			
	10	水路に面するところでは、伝統的なまち並みと調和のとれた橋のデザインに配慮する。		①			☐
				②			
11	門扉などの外構は、宿通りのまち並みに溶け込むデザインとするよう配慮する。		①			☐	
			②				
眺望への配慮	12	丘陵地への眺望を妨げない配置、高さ、規模とする。		①			☐
				②			
照明	13	隣接する住宅に配慮した明るさとするなど、周辺の環境に応じた照明計画とする。 周辺に光害が生じないよう配慮する。		①			☐
				②			
	14	過度な照明を使用せず、趣のある照明とするよう配慮する。。		①			☐
				②			